

令和3年度学校自己評価システムシート (県立深谷第一高等学校)

目指す学校像	1 広い視野を持ち、自ら学び続ける意欲と態度を持った人間を育成する。 2 文化やスポーツを愛し、人と人との絆を大切に作る人間を育成する。
--------	---

重点目標	1 高い志を育み、授業研究を推進し、学習指導の充実を図り、高い学力を身に付けさせる。 2 キャリア意識の向上と目標に向かって最大限の努力を促す進路指導を推進する。 3 社会の一員としての自覚と責任感、規律ある態度を育成する。 4 地域との連携や外部教育力の活用を通じ、教育活動を更に充実する。
------	---

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者 生徒 事務局(教職員)	名 名 名
-----	-------------------------	-------------

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価					年度評価(2月1日現在)		
年 度 目 標			年度評価(2月1日現在)				
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	【現状】 タブレットPCやWi-Fi環境が整備され、ICT機器を効果的に使用した授業を推進できる環境が整った。 【課題】 生徒の家庭学習の習慣は身に付きつつあるが、自己学習時間があまり伸びていない。継続して取り組む必要がある。	主体的・対話的で深い学びの実践(授業改善の推進)	①年次研修の研究授業や授業公開週間中の互見授業ならびに研修会等による指導力向上 ②定期考査を活用した指導の工夫 ③ICTを活用した授業の実践と活用方法の工夫	①年次研修や授業公開での授業研究と研修会の実施状況 ②定期考査後の振り返りの実施状況 ③ICT機器(PC・プロジェクター・タブレット等)の授業での活用状況と活用方法の多様性	教科や学年で連携し、授業改善に取り組んだ。 ①②教員が自己評価シートに明記し実践。 ③Google Classroomを授業、部活動での連絡や指導、調査に活用。複数教員がオンライン授業を実践。	A	【課題】 ・効果的なICT活用 ・情報リテラシー及びマナー指導 ・自学自習の定着 ・探究的活動の実践 【改善策】 「家庭学習習慣が身につけている」と回答した保護者が56.6%(R2:54.0%)と増加したが、自己学習時間はあまり伸びていない。Classroomを用いた課題提出等、生徒の関心に沿った課題形態を工夫する。
		自学自習の定着	①教科・学年間の連携を深め、予習・復習の徹底と家庭学習時間の確保 ②教科の特色を生かした課題等の工夫 ③生徒のニーズに合わせた課外補習等の開設	①自己学習時間の増加 ②プリント学習(課題)の増加 ③補習日の設定と課外講座等への参加人数の増加	生徒の意識向上に向け、課題や考査を活用した。 ①自己学習時間が全学年で微増 ②生徒の実態に即した課題を提示。ほぼ全員が期日に課題を提出 ③課外講座等の参加者減少(夏季22人)	B	
2	【現状】 e-ポートフォリオの活用により生徒一人ひとりの目標が可視化され明確になった。 【課題】 生徒の進路への関心・意欲を向上させる活動の工夫。	キャリア教育の推進	①入試改革に対応する3年間を見通したキャリア教育の実施 ②ガイダンス機能の充実 ③保護者への情報提供	①スタディサポート・進路の手引きの活用によるキャリア教育の視点で進路指導計画策定、進路指導の実施 ②分野別ガイダンスや卒業生の進路体験発表会等の企画・実施 ③ホームページや進路だよりの閲覧等、保護者への情報の浸透状況	外部講師を活用し、年間を通し計画的にキャリア教育を推進した。 ①②年間計画をどおり実施し生徒の意識が向上。外部と連携し保護者向け啓発動画を配信。 ③保護者アンケート「進路情報は保護者まで届いている」70.0%(R2:76.7%)	A	【課題】 ・e-ポートフォリオ活用の充実 ・「総合的な探究の時間」における探究活動の推進と主体性の育成 ・一般受験クラス生徒の意識改革 【改善策】 ・生徒の主体的な活動場面の設定 ・「進路だより」の活用による生徒のモチベーション維持と確かな学力の育成
		生徒の主体的な進路活動	①個別の進路相談、面接指導の充実 ②一般受験クラス生の受験意識の向上 ③「総合的な探究の時間」を利用した外部教育力の活用と探究する力の向上	①進路相談、面接指導の充実による現役進路決定率の向上 ②一般受験クラスの一般受験生の増加 ③e-ポートフォリオと連鎖した事後の振り返りによる生徒の意識の変容	生徒の希望進路実現のため、きめ細かな指導を実践した。 ①現役進路決定率 81.7%(R2:74.8%) ②一般受験クラス一般受験生12名 ③行事ごとに振り返りを実施し、目標を明確化、精選を含めた検討	A	
3	【現状】 部活動が本校の教育活動の1つの柱となっており、保護者の満足度も高い。 【課題】 自転車運転マナーの向上や生徒主体の「スマホルール」の整備等、生徒の規範意識を向上させる。	部活動等の活性化	①生徒が理解して取り組む部活動指導 ②体験入部の工夫・改善 ③学校行事の充実と発展	①1年生全員加入と定着率の増加 ②部活動体験の実施回数・人数 ③生徒による文化祭等の自主的運営状況	感染症拡大防止に配慮し取組んだ。 ①部活動加入率(10月)92.3%(R2:91.3%) ②部活動体験16部延べ27日 ③細心の注意を払い文化祭を実施	A	【課題】 ・制約の中での効果的な部活動 ・規範意識の高揚 ・生徒主体の「スマホのルールづくり」 【改善策】 ・自転車乗車マナー指導 ・挨拶を軸とした社会性の育成 ・異年齢者とのコミュニケーション
		規範意識の向上	①自転車運転マナーの部活動も含めた組織的指導 ②スマホの適切な使用時間管理 ③制服(セーター・ベスト)の選定	①登下校時のマナーアップの状況 ②生徒主体による「スマホのルールづくり」への取組状況 ③生徒・保護者の理解を得た制服(セーター・ベスト)の選定	年間を通し、組織的に指導した。 ①学期当初の登校指導週間における指導と苦情への迅速な対応 ②県教委から今後発出される基本指導方針を確認後、進める予定に変更 ③生徒指導部で細部を調整中	B	
4	【現状】 ホームページのアクセスは伸びたが、学校行事が行えなかったことから発信する情報の内容が伸び悩んでいる。 【課題】 外部の教育力を活用し、生徒の視野を広げる。また、学校説明会や中学校訪問に検討を加え、安定した生徒募集につなげる。 安定した教育活動を維持するため、教職員の働き方改革を推進する。	組織的な広報活動と生徒募集の充実	①学校内外の説明会の実施と方法の工夫 ②組織的なホームページの更新や最新の教育活動内容(大学入試改革、学校行事、部活動等)の発信 ③保護者アンケートの継続実施	①学校説明会・個別相談会参加者の本校に対する理解の変化 ②ホームページを更新した教員数 ③保護者アンケートの実施・集計・報告	8月の学校説明会の動画をホームページで公開し、情報提供の機会を増やした。 ①説明会参加者対象調査「本校への理解が深まった」と回答した中学生 100% ②月1回以上の更新者10名 ③学校評価に活用	B	【課題】 ・保護者アンケートでは「学校からの情報発信は充実している」と回答した保護者が82.0%(R2:69.4%)であり、アクセス数が増加した。 【改善策】 ・ホームページへの学校説明動画の掲載等、働き方改革の取組みを生かし、職員負担軽減につなげていく。
		地域との交流及び校内外の美化の促進 働き方改革の推進	①地域交流活動への積極的参加 ②PTA・生徒会主導による学校内外の美化活動の推進 ③協定校との連携強化 ④勤務の効率化に向けたデータ共有	①地元小・中学校等との交流や深谷市関連行事への参加人数 ②生徒、PTAによる美化活動の実施状況 ③協定校との連携事業実施状況 ④超過勤務時間の減少と休暇の取得状況	中止となった交流事業も多かったが内容を変更し、生徒の達成感を高めた。 ①行事中止(R2:33名参加) ②年2回の花の植替を実施 ③今年度も中止 ④超過勤務者減少 休暇取得例年並み	B	

学校関係者評価	実施日 令和4年3月 日(郵送による書面審議)
学校関係者からの意見・要望・評価等	(良好) 生徒一人一人の自己学習時間の増加が課題かと思えます。自学自習に向けた意識改革をさせることも必要と思えます。また、生徒のモチベーションをどう高めるかということも大切だと思えます。 コロナ感染拡大防止に留意しながら、先生方のご苦勞が窺える昨今ですが、より高い嶺を目指して頑張ってください。
	(良好) キャリア教育が確実に推進され素晴らしい。中学生時代よりもより身近となる将来像を、生徒に意識させることは、とても重要であると思えます。機会を捉えて、その都度意識化を図っていくと良いと思えます。 併せて、保護者に対する進路の意識付けも大切になると思えます。
	(良好) 感染防止をしながら良く取り組んでいます。自転車運転マナーも良くなってきたようです。 生徒に“社会”を意識させるには、地道な取り組みが必要であると思えます。 制服の問題は、なかなか進展していないように感じます。
	(ほぼ良好) 地域との連携は、深谷第一高校の目玉でしたが、コロナ禍で思い通りの活動ができず残念です。何とか方法を模索したいところです。地域は深一を生を頼りにしているので、連携・協力を継続して、より良い学校づくりを進めていただきたいと思います。